



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月27日

上場会社名 日水製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4550 URL https://www.nissui-pharm.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 小野 徳哉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 谷津 精一 TEL 03-5846-5611
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,864	△5.6	241	△29.7	261	△32.3	199	△12.8
30年3月期第1四半期	3,034	—	343	—	387	—	228	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 174百万円 (△30.1%) 30年3月期第1四半期 249百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	8.90	—
30年3月期第1四半期	10.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
31年3月期第1四半期	35,413		32,700		92.3	
30年3月期	35,809		32,974		92.1	

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 32,700百万円 30年3月期 32,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,400	4.0	660	△15.4	670	△20.3	470	△30.1	20.99
通期	13,000	5.4	1,550	8.6	1,570	2.3	1,100	△6.4	49.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	22,547,140株	30年3月期	22,547,140株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	152,201株	30年3月期	151,997株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	22,395,000株	30年3月期1Q	22,395,312株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

近年における当社グループの臨床検査における事業環境は、体外診断用医薬品の全般的な普及飽和傾向により、ほぼ横ばいで推移しております。平成30年度の診療報酬改定は、全体ではプラスの改定が行われましたが、政府による医療費抑制策の基調は変わらず、厳しい環境が続いております。再生医療分野は、複数の企業や医師の主導による治験が開始され、再生医療等製品の開発活動が活発になっております。

当社グループでは、経営方針として「長期的に持続的成長をする企業」を掲げております。既存事業の推進と新規事業育成による新たな価値の創出を目指し、中期経営計画の3年目(最終年)に際し、引き続き次のような経営戦略に取り組んでおります。

将来性・・・成長分野への新技術開発のための開発的投資(資本参加などのM&A・提携・委託)

拡張性・・・市場拡大のための戦略的投資(市場開拓・製品及びサービス開発)

収益性・・・製造設備強化への効率的投資(業務品質向上・事業ポートフォリオ適正化)

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は28億64百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は2億41百万円、経常利益は2億61百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億99百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメント別の状況は、概ね次のとおりです。

<診断薬事業>

当セグメントにおいては、国内基幹病院や検査センターへの各種検査機器設置活動に注力しました。また、再生医療関連製品の開発・販売によりマイコプラズマ遺伝子検出キット「Myco Finder」の売上高が前年同期に比べ16.0%増加しました。海外市場(欧州、ASEAN、中国等)においては、菌数測定用乾式簡易培地「コンパクトドライ*」の売上高が前年同期に比べ12.0%増加しました。国内食品大手企業への微生物迅速検査製品の販売にも注力しており今後の市場拡大に伴う売上増を期待しております。

結果としまして、売上高は前年同期に比べ69百万円(3.0%)増加し23億70百万円、営業利益は前年同期に比べ28百万円(6.0%)減少し4億44百万円となりました。

<医薬事業>

当セグメントにおいては、健康未来創造研究会への新規会員店の拡充、プライベートブランド向け新製品の提案に注力いたしました。結果としまして、売上高は前年同期に比べ54百万円(10.0%)減少し4億93百万円、営業利益は前年同期に比べ50百万円(78.0%)減少し14百万円となりました。

なお、平成30年4月1日付で、当社グループの経営資源の最適配置を目的とした会社分割を行い、当事業の運営を完全子会社である日水製薬医薬品販売株式会社に移管いたしました。

上記は各事業に配賦できない支援部門に係る費用等2億16百万円が控除されております。

<研究開発活動等>

診断薬事業における産業検査薬領域では、ピオメリュウ・ジャパン株式会社の自動蛍光免疫測定装置「バイダスシリーズ」、自動生菌数測定装置「テンポ」及び微生物定量試験用標準菌株「BIOBALL*」等について食品検査市場での販売契約を締結いたしました。

設備投資では、診断薬工場(茨城県結城市)で生産している全自動迅速同定・感受性測定装置「ライサス*シリーズ」用の試薬生産設備の更新を行い、原価低減・増産対応・品質向上を図りました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億95百万円減少し354億13百万円となりました。主に現金及び預金5億38百万円、受取手形及び売掛金2億69百万円の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億21百万円減少し27億13百万円となりました。主な増加は流動負債その他1億1百万円によるもので、主な減少は未払法人税等1億9百万円、賞与引当金1億47百万円によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億73百万円減少し327億0百万円となりました。

この結果、自己資本比率は92.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点では平成30年5月11日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,565	7,027
受取手形及び売掛金	3,214	2,945
有価証券	—	503
商品及び製品	1,882	1,865
仕掛品	371	332
原材料及び貯蔵品	873	1,000
関係会社預け金	14,964	14,975
その他	144	149
貸倒引当金	△47	△30
流動資産合計	28,966	28,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,487	1,481
機械装置及び運搬具(純額)	362	392
土地	1,752	1,752
リース資産(純額)	54	49
建設仮勘定	70	70
その他(純額)	164	156
有形固定資産合計	3,893	3,903
無形固定資産		
ソフトウェア	38	38
リース資産	43	39
ソフトウェア仮勘定	23	24
その他	6	6
無形固定資産合計	111	110
投資その他の資産		
投資有価証券	2,513	2,228
繰延税金資産	61	131
その他	300	310
貸倒引当金	△39	△37
投資その他の資産合計	2,836	2,631
固定資産合計	6,842	6,645
資産合計	35,809	35,413

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,458	1,460
リース債務	37	37
未払法人税等	246	137
未払消費税等	—	47
賞与引当金	196	48
役員賞与引当金	17	8
歩戻引当金	2	6
その他	420	522
流動負債合計	2,380	2,268
固定負債		
退職給付に係る負債	2	2
リース債務	68	59
長期預り保証金	372	372
その他	10	10
固定負債合計	454	444
負債合計	2,834	2,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,449	4,449
資本剰余金	5,378	5,378
利益剰余金	23,071	22,822
自己株式	△99	△99
株主資本合計	32,799	32,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	150
その他の包括利益累計額合計	174	150
純資産合計	32,974	32,700
負債純資産合計	35,809	35,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,034	2,864
売上原価	1,531	1,525
売上総利益	1,502	1,338
販売費及び一般管理費	1,159	1,097
営業利益	343	241
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	14	4
デリバティブ評価益	2	—
受取補償金	10	—
システム使用料	—	4
その他	7	4
営業外収益合計	44	23
営業外費用		
支払利息	0	0
デリバティブ評価損	—	1
為替差損	1	0
その他	—	0
営業外費用合計	1	2
経常利益	387	261
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	386	261
法人税、住民税及び事業税	69	120
法人税等調整額	88	△58
法人税等合計	157	62
四半期純利益	228	199
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	228	199

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	228	199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△24
その他の包括利益合計	21	△24
四半期包括利益	249	174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249	174
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	診断薬事業	医薬事業	化粧品事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,300	548	184	3,034
セグメント利益	472	64	21	558

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	558
全社費用(注)	△215
四半期連結損益計算書の営業利益	343

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	診断薬事業	医薬事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,370	493	2,864
セグメント利益	444	14	458

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	458
全社費用(注)	△216
四半期連結損益計算書の営業利益	241

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「化粧品事業」につきましては、平成29年7月1日付で、化粧品事業を営んでいたニッスイファルマ・コスメティックス株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを廃止しております。